

政策名	5安全な港		責任者	港営部 海務課長	連携担当課 (企画調整室)事業担当 (建設部)維持管理担当 港湾工事事務所、工事課
基本施策名	08施設の安全性・信頼性の向上				
個別施策名	23港湾施設の機能を維持・強化する				
事務事業名	03水域施設・係留施設の維持管理		連絡先	052-654-7880	

### 1 PLAN(目的・概要)

目的	水域施設・係留施設を適切に維持・管理し、船舶が安全に着離岸及び係留できるようにします。	事業期間	昭和26年度～継続
概要	航路、泊地などの水域施設及び岸壁、係船浮標などの係留施設を巡視・点検し、経年劣化又は利用者による損傷・不良箇所を補修し、又は補修させます。	根拠法令・要綱等	港湾法 港湾施設条例
		実施義務	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無

### 2 DO(実施)

22年度の実施内容 【及び23年度の実施予定】	・効率的・計画的な巡視スケジュールの確立及び巡視日誌の記載内容を拡充することにより、より一層施設の現状把握に努め、必要に応じ適宜補修に努め、最低限の費用で施設を良好に維持・管理します。								
活動指標	年度	19	20	21	22	23	中間目標	24	備考(指標の算定方法など)
修復が必要な係留施設及び泊地の修復率	単位	目標	100	100	100	100	100	100	修復を行なった係留施設及び海中障害物を除去した泊地÷経年劣化又は利用船舶により損傷した修復が必要な係留施設及び海中障害物の除去が必要な泊地
	%	実績	37	50	41	42			
港内巡視	単位	目標	104	104	156	156	208	208	週2回×52週 週3回×52週、22年度途中から巡視強化週4×52週
	回	実績	80	90	121	232			
事業費	千円	76,330	29,240	56,280	21,862	47,130			
人員	正規職員	人	0.75	1.35	0.75	1.35	1.15		
	嘱託職員	人	0.90	0.30	0.60	0.30	0.60		
人件費相当額	千円	10,021	12,998	8,962	12,749	12,544			
事業費・人件費の合計	千円	86,351	42,238	65,242	34,611	59,674			

### 3 CHECK(検証)

決算ベース(H22は見込) ← → 予算ベース

成果指標	年度	19	20	21	22	23	中間目標	24	備考(指標の算定方法など)
良好な係留施設及び泊地率	単位	目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	修復を必要としない係留施設及び海中障害物の除去を必要としない泊地÷全ての係留施設及び泊地
	%	実績	77.0	78.0	82.0	75.0			
	達成率(%)	77.0	78.0	82.0	75.0				
観点	課題の有無	現状の「見える化」							その他特記事項
	観点	観点							
必要性	組合関与の必要性	有・ <del>無</del>	・本組合が関与すべき事業であり、係留施設等については良好に維持されなければならず、目的は妥当です。また、利用者からも施設の良好な維持を求められています。						
	目的・水準の妥当性	有・ <del>無</del>							
有効性	利用者などの対象者ニーズ	有・ <del>無</del>							
	成果の達成度	<del>有</del> ・無	・全ての施設が良好に維持管理されていることが求められており、成果としては充分とはいえません。						
効率性	内容の妥当性	有・ <del>無</del>							
	実施主体の妥当性	有・ <del>無</del>							
	受益者負担の適正性	有・ <del>無</del>	・原因者がある場合は原因者に修復をさせ、極力効率性・経済性を発揮するべく努力しています。						
経済性	有・ <del>無</del>								

### 4 ACTION(取組)

今後の事務事業の方向性	今後の取組の方向性		今後の取組の方向性の判断理由
継続	成果	コスト	事故防止などの安全対策上不可欠であるため。
	維持	維持	
今後の取組内容(改善策、スケジュールの建て直し等)			
引き続き施設を良好に維持管理するよう努めます。			